

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	村上信親
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3516
事務事業名	4196 農道・水路補修事業						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	05012100 農業の活性化						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費					
	事業	040000 農道・水路補修事業					
事業目的				事業概要・効果			
農道水路補修・修繕ならびに農道改良時の未登記箇所解消を推進し、施設の利用効果の発揮と権利関係の明確化を図る。				農道・水路の補修・修繕を実施することで農業生産基盤の向上を図り、須坂市の農業振興につなげる。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
福島排水機場ゲート改修工事 中島排水機場ゲート改修工事 竜ヶ池ゲート改修工事 主要施策成果説明書参照	野下原ため池2号耐震性点検調査 古川浚渫工事ほか3件
平成29年度 実績	平成30年度 予定
排水機場長寿命化計画策定業務 権五郎川浚渫工事ほか2件	土地改良施設インフラ長寿命化計画策定業務 野下原2号ため池耐震化計画策定費作成業務 塩野ため池浚渫工事
平成31年度 予定	平成32年度 予定
土地改良施設インフラ長寿命化計画策定業務 相之島団地ゲート改修工事	土地改良施設インフラ長寿命化計画策定業務

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		7,390	24,366
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	2,500
	地方債	0	0
	その他	0	10,800
一般財源		7,390	11,066
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	714.9	714.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	714.9	714.9
市民一人当たりの経費		0.2	0.5
総額		8,104.9	25,080.9

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,428	測量設計業務委託費
15節 工事請負費	1,634	ゲート改修工事・河川浚渫工事
19節 負担金補助及び交付金	2,328	土地改良施設維持管理適正化事業費拠出金
その他	0	

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	10,650	測量設計業務委託費10,600、農道台帳補正委託料50
15節 工事請負費	11,900	河川浚渫工事
19節 負担金補助及び交付金	1,816	土地改良施設維持管理適正化事業費拠出金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	土地改良施設の改修等により、農業用水の安定的な確保につながり、農業生産基盤の向上が図られる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地元の要望等により、緊急性・必要性を考慮し、優先順位により改善。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	土地改良施設の改修等については、土地改良施設維持管理適正化事業を有効に活用し、コスト削減を図る。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
地元の要望、防災等の事業が中心で、予定通り事業を進めている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>農業生産基盤である農道・水路の適正管理による農業振興に加え、災害の未然防止に効果がある。</p>		<p>農道・水路の補修・修繕・適正管理を行うことで農業生産基盤の向上・農業振興・災害防止等につなげる。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	